

地域おこし協力隊 活動報告 08

先月の活動報告で「遺品整理士」の資格取得を報告しました。そして現在は、「遺品査定士」の資格取得に向けて勉強中です。資格取得の経緯ですが、遺品整理士の資格取得の理由と同様に空き家バンク相談会で相談者が残置物の処分の仕方に困っている、という所からです。残置物は、遺品として残す物、廃棄する物、リサイクルして売買する物、供養する物など処分の仕方は多岐に渡ります。遺品査定士は遺族が遺品整理の際、リサイクル品として売買を希望した時に「遺族の想いをくんで、品物の価値をしっかりと見極めて、正当な値段を伝える」のが主な役割です。遺品査定士の資格を取得して、遺品の買い取り価格を正に判断する役割としてサポートできれば、遺族は遺品整理時の費用を軽減できます。また、古物商の許可申請を警察署にしています。古物商は、中古品の売買または交換、レンタルを業とする際に必要な許可です。朝倉市では、空き家バンク相談会を始め、令和 6 年 8 月には「家財処分に関するセミナー」も初開催され多くの方に参加していただきました。今後、私の知識を朝倉市の方々に役立てることができればと思います。

8 月は大学生のインターンシップ・仕事体験の受け入れ担当しました。大学生のインターンシップ研修では九州大学と久留米大学の学生 4 名と一緒に移住定住交流センター「コネアサクラ」で施設の概要、シティプロモーション課の事業などについて説明した後、2つのグループに分かれて研修を行いました。一つ目のグループはふるさと納税返礼品の PR 記事作成、もう一つのグループは朝倉市公式インスタグラムの動画撮影の企画と記事作成です。研修の最後には各グループの発表、記念撮影を行い研修が終了しました。今回の研修で自分自身も学生から学ぶことが多かったので今後の活動に活かしたいと思います。



インターンシップ生の作業の様子



グループごとの発表前に最終確認